

令和4年度 第2回 清竜中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年11月29日（火） 14時から16時まで
- 2 開催場所 清竜中学校 多目的室
- 3 出席委員 藤井信男、西田躬穂、内藤留美子、阿蔵直子、森下伸弘
鈴木省吾、米倉理恵
- 4 欠席委員 田村和史、出野光雄
- 5 学校支援コーディネーター 野口めぐみ
- 6 学校 野中崇（校長）、松島歩（教頭）、鈴木政晴（CS担当）、
湯澤亜湖（CSディレクター）
- 7 教育委員会 清水悠（教育総務課）
- 8 傍聴人 なし
- 9 協議事項
 - (1) 意見交換（授業参観の感想、日頃の生徒の様子など）
 - (2) 清竜中学校の特色ある教育課程について
 - (3) 清竜中学校の防災の取り組みについて
 - (4) 現在進めている取り組み等について
- 10 会議録作成者 CSディレクター 湯澤亜湖
- 11 会議記録

司会から委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

 - (1) 意見交換（授業参観の感想、日頃の生徒の様子など）

議長より、生徒の様子について意見を求めたところ、委員から以下の発言があった。

 - ・先日行われた草刈り作業の際、生徒たちが自主的によく働いており感心した。（藤井委員）
 - ・音楽の授業を見学したが合唱指導が素晴らしかった。教師の専門性が高められていると感じた。（西田委員）
 - ・4組の生徒たちが、落ち着いて楽しんで授業を受けている様子が伝わった。（野口委員）
 - ・生徒たちがタブレットを使いこなしている様子が見られた。（内藤委員）
 - ・板書の代わりにパワーポイントを使用しており、時間短縮に繋がっていると感じた。（森下委員）

(2) 清竜中学校の特色ある教育課程について

C S担当者より総合的な学習の年間指導計画等について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・想像していたよりも行事が多い。生徒の心の揺れに寄り添った指導をしていることが伝わった。(米倉委員)
 - ・こころと命の授業を3回も受けられるのは貴重な体験。(野口委員)
 - ・校外活動(熊地区)はお互いの地域のことを知れるため、今後も続けてほしい。(森下委員)
 - ・未来授業で自分の興味のない仕事の話を書くこともキャリア教育として大事なこと。(藤井委員)
 - ・こころと命の授業についての感想を読んだが、生徒の心に響いている様子が伝わった。(西田委員)
- 協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 清竜中学校の防災の取り組みについて

C S担当者より防災の取り組み、安全計画について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ふじのくにジュニア防災士資格取得について。自分の身を守れるようになる良い取り組みだと感じた。(鈴木委員)
- ・被災した家庭が学校へ連絡する際、平日以外はどうしたらいいか。(野口委員)
- ・土日祝は教育委員会へ連絡すれば、校長、教頭が確認することができる。(校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) 現在進めている取り組み等について

議長より現在進めている取り組みについて意見を求めたところ、委員からは以下の発言があった。

- ・部活動の横断幕を各地域に掲示したい。掲示可能な場所について情報を集めているが、個人宅または企業をサポーターという形で募集したいと考えている。(野口委員)

その他報告事項等

- ・会長に選任された藤井委員から、阿蔵委員を副会長に指名する旨の報告があった。

- ・教育総務課清水氏より「令和4年度学校運営協議会自己評価表」の提出について説明があった。提出締め切り日は令和5年2月28日。
- ・司会から次回会議は、令和5年2月21日（火）16時から多目的室で開催する旨の報告があった。

以上